



「金メダルのまち＝大府市」から都市鉱山を活用してメダルをつくろう！

1. 「いらなくなった携帯電話・パソコンで2017年マラソン大会のメダルをつくろう～ゴールドラッシュ2020運動～」の結果について

本市は、昨年11月から本年3月末まで、「いらなくなった携帯電話・パソコンで2017年マラソン大会のメダルをつくろう～ゴールドラッシュ2020運動～」として、市民の皆様にリサイクル回収の協力を依頼していました。

その結果、パソコン・携帯電話が2.8トン（パソコン465台・携帯電話504台）回収できました。環境省の定めた「小型電気電子機器に含まれる有用金属含有量 一覧表」をもとに、1台当たりのパソコン・携帯電話の金、銀、銅の資源量から換算すると、リサイクルメダルとして、金メダル2.6個分が回収されました。

今年の大府シティ健康マラソン大会には、純銀製メダルに純金メッキした金メダル2個をリサイクルメダルとして提供します。

2. 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」チラシ作成について

本市は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、大会組織委員会）の「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の小型家電回収PRチラシに、至学館大学レスリング部の方々を採用した独自のPRチラシを作成しました。

これは、地元ゆかりのアスリートをチラシに採用し、大会組織委員会の承認を受けたものとなります。

東京都以外の地からも東京オリンピック・パラリンピックを応援し、「もったいない」の思いが市民の皆様に伝わるよう、各種イベントで配布するなどして、「都市鉱山メダル発祥の地＝大府」となるよう小型家電の回収を推進していきます。

【参考資料】

- ・「いらなくなった携帯電話・パソコンで2017年マラソン大会のメダルをつくろう～ゴールドラッシュ2020運動～」の回収結果
- ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」チラシ（大府市版）

【問い合わせ先】

大府市役所市民協働部環境課

担当：久野 幸裕（クノ ユキヒロ）・鈴木 善和（スズキ ヨシカズ）

電話：0562-45-6223

FAX：0562-47-7320

E-mail：kankyo@city.obu.lg.jp